

国民年金 だより

問い合わせ先
市民課 ☎(40)5556
栃木年金事務所
☎0282(22)6074、4134

■老齢基礎年金繰り上げ受給

国民年金の老齢基礎年金は65歳から受け取るのが基本ですが、本人が希望すれば60歳からでも受け取ることが出来ます。この場合、受け取る年金額が65歳から受け始める年金額に比べ減額されます。

減額率は、受給を希望し、請求した月から65歳になる月の前月までの月数に応じて、1か月繰り上げるごとに0.5%ずつ低くなります。

つまり、繰り上げの請求を行う月によって減額率は異なります。なお、減額は一生続きますので注意が必要です。

年金を受け取る手続きを裁定請求といひ、国民年金の裁定請求の手続きは、市区町村役場の国民年金の窓口（第2号および第3号被保険者期間がある場合は年金事務所）で行います。

●老齢基礎年金繰り上げ受給総額(累計額)20歳から60歳まで40年間保険料を納めて、65歳からの年金額を満額780,100円(平成27年度の額)受け取るものとして計算しています。

※表中の金額は、受給開始年齢到達月(誕生日の前日の属する月)に繰り上げた減額率により計算しています。

※実際には、請求した月に応じて、次の式で計算された減額率によって老齢基礎年金額が減額されます。**減額率=0.5%×繰り上げ請求月から65歳になる月の前までの月数**

単位：円

受給開始年齢	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳
累計額	70%	76%	82%	88%	94%	100%
60歳時	546,100					
61歳時	1,092,200	592,900				
62歳時	1,638,300	1,185,800	639,700			
63歳時	2,184,400	1,778,700	1,279,400	686,500		
64歳時	2,730,500	2,371,600	1,919,100	1,373,000	733,300	
65歳時	3,276,600	2,964,500	2,558,800	2,059,500	1,466,600	780,100
70歳時	6,007,100	5,929,000	5,757,300	5,492,000	5,133,100	4,680,600
75歳時	8,737,600	8,893,500	8,955,800	8,924,500	8,799,600	8,581,100
80歳時	11,468,100	11,858,000	12,154,300	12,357,000	12,466,100	12,481,600

■繰り上げ受給の注意点

繰り上げ受給をすると、いくつかのデメリットがあります。十分理解したうえで、繰り上げ受給をするかどうか決める必要があります。

- ① 繰り上げの請求をした場合は、裁定の取り消しや変更はできません。
- ② 請求時の年齢に応じて年金額が減額され、一生減額された年金を受け取ることになります。
- ③ 繰り上げ受給後は、65歳になるまでの間に障がいの状態になっても、原則として障害基礎年金が受給できません。
- ④ 繰り上げ受給後に遺族年金等が発生した場合は、65歳になるまでの間、老齢基礎年金と遺族年金のどちらか一方を選択することになります。65歳からは両方支給されますが、老齢基礎年金は減額支給のままです。
- ⑤ 寡婦年金を受ける権利がなくなります。
- ⑥ 国民年金の任意加入ができません。

■老齢基礎年金繰り下げ受給

国民年金の老齢基礎年金は、本人が希望すれば66歳から70歳までの希望するときに年金を受け取ることもできます。この場合、受け取る年金額が65歳から受け始める年金額に比べ増額されます。増額率は、65歳になった月から繰り下げの申し出を行った月の前月までの月数に応じて、1か月繰り下げごとに0.7%ずつ高くなります。

つまり、繰り下げの請求を行う月によって増額率は異なります。ただし、昭和16年4月1日以前に生まれた方は、66歳で受け取り始めた場合は12%、67歳では26%、68歳では43%、69歳では64%、70歳では88%の増額となります。

○昭和16年4月2日以降に生まれた方

支給の繰り下げを申し出た日の年齢	受取率
65歳	100%
66歳0か月～66歳11か月	108.4%～116.1%
67歳0か月～67歳11か月	116.8%～124.5%
68歳0か月～68歳11か月	125.2%～132.9%
69歳0か月～69歳11か月	133.6%～141.3%
70歳	142%